

トンネル点検の理解深める

県コンクリート診断士会が研修会

越前市で開催

福井県コンクリート診

断士会（山川博樹会長）は27日、越前市白崎町のしきぶ温泉湯楽里で第98

回となる「トンネル点検研修会」を開催した。

正会員と賛助会員の計27人が参加。はじめに座学研修が実施され、同会幹事の安本倫章氏がトンネル定期点検に関する法律制度、維持管理の手順、変状の実態と原因、点検体制と作業内容、外力変状・材質劣化・漏水の各対策区分判定、トンネルの健全性診断などを詳細に説明し、写真。参加者は実際の業務に活かそうと熱心に聞き入った。



続いて、市内武生米ノ線の干飯（かれい）トンネルへ移動し現場実習に臨んだ。参加者は6班に分かれ、地上または高所作業車上から点検し、座学研修で学んだ内容を参考に変状箇所などを確認。改めてトンネル点検への理解を深めた。